



ブランディングのカスタマイズ

- ブランディングの概要 (1 ページ)
- ブランディングの前提条件 (1 ページ)
- ブランディングのタスク フロー (2 ページ)
- ブランディング ファイルの要件 (5 ページ)

ブランディングの概要

ブランディング機能では、Cisco Unified Communications Manager のカスタマイズされたブランディングをアップロードできます。ブランディングは、Cisco Unified CM の管理のログイン ウィンドウと設定ウィンドウに適用されます。変更できる項目には次のものがあります。

- 企業ロゴ
- 背景色
- 枠線色
- フォントの色

セルフケア ポータルでのロゴの追加

ブランディング機能では、企業ロゴを Unified Communications セルフケア ポータルのログイン ページとユーザインターフェイスのヘッダーに追加できます。branding_logo.png ファイルを branding.zip ファイルに含め、zip ファイルを Cisco Unified Communications Manager にアップロードする必要があります。Cisco Unified Communications Manager でブランディングを有効にすると、ロゴがセルフケア ポータルに表示されます。

セルフケア ポータルの背景色やフォントをカスタマイズするオプションはありません。

ブランディングの前提条件

指定したフォルダ構造とファイルを含むbranding.zip ファイルを作成する必要があります。詳細については、「[ブランディング ファイルの要件 \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

プランディングのタスク フロー

次のタスクを実行して、Cisco Unified Communications Manager および Unified Communications のセルフケア ポータルでプランディングを適用します。

始める前に

- [プランディングの前提条件](#) (1 ページ) を確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	次のいずれかの手順を使用してプランディング設定を構成します。 <ul style="list-style-type: none"> • プランディングの有効化 (2 ページ) • プランディングの無効化 (3 ページ) 	Cisco Unified Communications Manager クラスタ全体でプランディングを適用します。
ステップ2	Tomcat サービスの再起動 (4 ページ)	Unified Communications のセルフケア ポータルで新しいプランディング設定を取得するには、Cisco Tomcat サービスを再起動する必要があります。

プランディングの有効化

この手順を使用して、Unified Communications Manager に対してプランディング カスタムを有効にします。システムで SAML シングルサインオンが有効になっている場合でも、プランディング アップデートが表示されます。



(注) プランディングを有効にするには、特権レベル4のアクセス権を持つマスター管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。

始める前に

`branding.zip` ファイルを準備し、Unified Communications Manager がアクセスできるロケーションに保存します。

手順

ステップ1 Cisco Unified OS の管理にログインします。

ステップ2 [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)]>[プランディング (Branding)]を選択します。

ステップ3 リモート サーバを参照し、branding.zip ファイルを選択します。

ステップ4 [ファイルのアップロード (Upload File)]をクリックします。

ステップ5 [プランディングの有効化 (Enable Branding)]をクリックします。

(注) また、**utils branding enable** CLI コマンドを実行して、プランディングを有効にすることもできます。

ステップ6 ブラウザを更新します。

ステップ7 すべてのCisco Unified Communications Manager クラスタノードに対してこの手順を繰り返します。

次のタスク

セルフケア ポータルのユーザインターフェイスに企業ロゴを追加する場合は、次の手順を実行します。

- [Tomcat サービスの再起動 \(4 ページ\)](#)

プランディングの無効化

この手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager クラスタでプランディングを無効にします。セルフケアポータルから企業ロゴを削除する場合は、プランディングを無効にする必要があります。



(注)

プランディングを無効にするには、特権レベル4のアクセス権を持つマスター管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。

手順

ステップ1 Cisco Unified OS の管理にログインします。

ステップ2 [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)]>[プランディング (Branding)]を選択します。

ステップ3 [プランディングの無効化 (Disable Branding)]をクリックします。

Tomcat サービスの再起動

(注) また、**utils branding disable** CLI コマンドを実行して、プランディングを無効にすることもできます。

ステップ4 ブラウザを更新します。

ステップ5 すべての Cisco Unified Communications Manager クラスタノードに対してこの手順を繰り返します。

次のタスク

セルフケア ポータルのユーザインターフェイスから企業ロゴを削除する場合は、次の手順を実行します。

- [Tomcat サービスの再起動（4 ページ）](#)

Tomcat サービスの再起動

セルフケア ポータルに反映させるには、Cisco Tomcat サービスを再起動してプランディング アップデートを行う必要があります。

始める前に

以下を完了していることを確認します。

- セルフケア ポータルにロゴを追加するには、まず Cisco Unified Communications Manager でプランディングを有効にする必要があります。branding.zip アップロードファイルには、企業ロゴが入った 44x25 ピクセルの branding_logo.png ファイルが含まれている必要があります。詳細は、[プランディングの有効化（2 ページ）](#) を参照してください。
- セルフケア ポータルからロゴを削除するには、Cisco Unified Communications Manager でプランディングを無効にする必要があります。詳細は、[プランディングの無効化（3 ページ）](#) を参照してください。

手順

ステップ1 コマンドラインインターフェイスにログインします。

ステップ2 **utils service restart Cisco Tomcat** CLI コマンドを実行します。

ステップ3 すべての Cisco Unified Communications Manager クラスタノードに対してこの手順を繰り返します。

次のタスク

サービスが再起動したら、ブラウザを更新してセルフケア ポータルの変更を確認します。

プランディング ファイルの要件

カスタマイズしたプランディングをシステムに適用する前に、所定の仕様に従って Branding.zip ファイルを作成します。リモートサーバ上で、プランディングフォルダを作成し、指定されたコンテンツをフォルダに入れます。すべてのイメージファイルとサブフォルダを追加したら、フォルダ全体を圧縮し、ファイルを branding.zip として保存します。

ヘッダーに単一のイメージを使用するか、またはヘッダー用のグレーディング効果を得るために6つのイメージの組み合わせを使用するかに応じて、フォルダ構造には2つのオプションがあります。

表 1: フォルダ構造オプション

プランディング オプション	フォルダ構造
単一ヘッダー オプション	<p>ヘッダーの背景 (吹き出し項目 3) に1つのイメージが必要な場合は、プランディングフォルダに次のサブフォルダとイメージファイルが含まれている必要があります。</p> <pre>Branding (folder) ccmadmin (folder) BrandingProperties.properties (properties file) brandingHeader.gif (2048*1 pixel image) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel image) branding_logo.png (44*25 pixel image)</pre>
グレーディング ヘッダー オプション	<p>ヘッダーの背景用にグレーディングイメージを作成する場合は、グレーディング効果を得るために6つの個別のイメージファイルが必要です。プランディングフォルダには、これらのサブフォルダとファイルが含まれている必要があります。</p> <pre>Branding (folder) ccmadmin (folder) BrandingProperties.properties (file) brandingHeaderBegLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderBegRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidRTR.gif (652*1 pixel image) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel image) branding_logo.png (44*25 pixel image)</pre>

ユーザインターフェイスのプランディング オプション

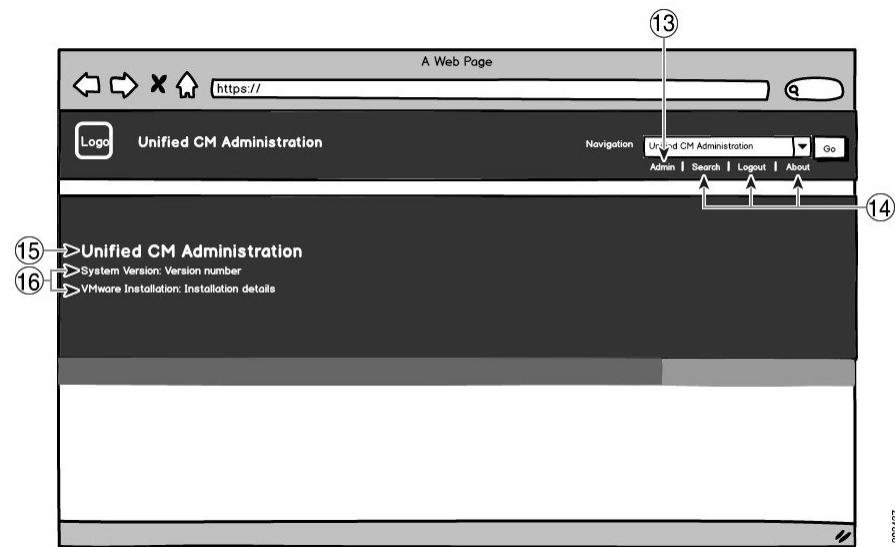
次の画像に、Cisco Unified CM の管理ユーザインターフェイスのカスタマイズオプションを示します。

■ プランディング ファイルの要件

図 1: Unified CM 管理ログイン画面のプランディング オプション



図 2: Unified CM 管理ログイン中画面のプランディング オプション



次の表で、コールアウト オプションについて説明します。

表 2:ユーザインターフェイスのプランディング オプション: ログイン画面

項目	説明	プランディングの編集
1	企業ロゴ (Company Logo)	<p>Cisco Unified Communications Manager にロゴを追加するには、会社のロゴを次のファイル名で44x44 ピクセルイメージとして保存します。 ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 ピクセル)</p> <p>(注) セルフケアポータルのヘッダーとログイン画面にロゴを追加する場合も、ロゴを 44x25 ピクセルの branding_logo.png ファイルとして保存する必要があります。</p>
2	Unified CM 管理ヘッダーのフォントの色	heading.heading.color
3	ヘッダーの背景	<p>1つの画像を使用するか、または6つの画像の組み合わせを使用してグレーディング効果を作成できます。</p> <p>シングルイメージオプション: 単一のイメージとして、ヘッダー背景を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> brandingHeader.gif (2048*1 ピクセル) <p>グレーディング バックグラウンド オプション: グレーディング効果を得るために6つのイメージとしてヘッダー背景を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> brandingHeaderBegLTR.gif (652*1 ピクセル) brandingHeaderBegRTR.gif (652*1 ピクセル) brandingHeaderEndLTR.gif (652*1 ピクセル) brandingHeaderEndRTR.gif (652*1 ピクセル) brandingHeaderMidLTR.gif (652*1 ピクセル) brandingHeaderMidRTR.gif (652*1 ピクセル)

■ プランディング ファイルの要件

項目	説明	プランディングの編集
4	ナビゲーションテキスト	header.navigation.color
5	[移動 (Go)] ボタン	header.go.font.color header.go.background.color header.go.border.color
6	ユーザ名テキスト	splash.username.color
7	パスワードのテキスト	splash.password.color
8	[ログイン (Login)] ボタン	splash.login.text.color splash.login.back.ground.color
9	[リセット (Reset)] ボタン	splash.reset.text.color splash.reset.back.ground.color
10	背景下の色：右側	splash.hex.code.3
11	背景下の色：左側	splash.hex.code.2
12	Banner	splash.hex.code.1

表3:ユーザインターフェイスのプランディングオプション：ログイン中画面

項目	説明	プランディングの編集
13	ユーザテキスト（たとえば、「admin」）	header.admin.color
18	検索、バージョン情報、およびログインテキスト	header.hover.link.color
15	Unified CM 管理のテキスト見出し	splash.header.color
16	システムのバージョン、VMware のインストール テキスト	splash.reset.text.color splash.version.color

プランディング プロパティの編集例

プランディングプロパティは、プロパティファイル (BrandingProperties.properties) に 16 進コードを追加することで編集できます。プロパティファイルは HTML ベースの 16 進コードを使用します。たとえば、ナビゲーションテキスト項目（吹き出し項目 #4）の色を赤に変更する場合は、プロパティファイルに次のコードを追加します。

```
header.navigation.color="#FF0000"
```

このコードで、`header.navigation.color` は編集するプランディングプロパティで、"`#FF0000`" は新しい設定（赤）です。

■ プランディング ファイルの要件